

西江通信

CONTENTS

- 1-2 現場だより「一般国道 242 号 足寄町
第 3 利別橋橋脚補強外一連工事」
- 3 就活情報
- 4 受賞 Report・特集「BCP 訓練」
- 5 PLUS NEWS

冬号

R 6 . 1 2 . 2 7

— 第 2 2 号 —

BACK
ISSUES



紙面を通じて西江建設とあなたを繋ぐ広報誌。西江の仕事・想い・働く私たちの情報をお届けします



12月18日（水）、帯広農業高等学校で農業土木工学科2年生を対象に実施した連携事業の様子。シミュレーターを用いてドローンの操作体験に真剣に取り組む生徒たち（撮影：情報化推進室 柚原）

現場だより

一般国道242号 足寄町

第3利別橋橋脚補強外一連工事



現場職員



みづかみ ひであき
水上 陽出明



すずき やすたか
鈴木 康貴



はやし のぶひろ
林 睦寛



いがuchi りょうじ
五十嵐 康浩

☑ 施工場所：足寄町、上士幌町、本別町

☑ 施工期間：令和6年7月9日～

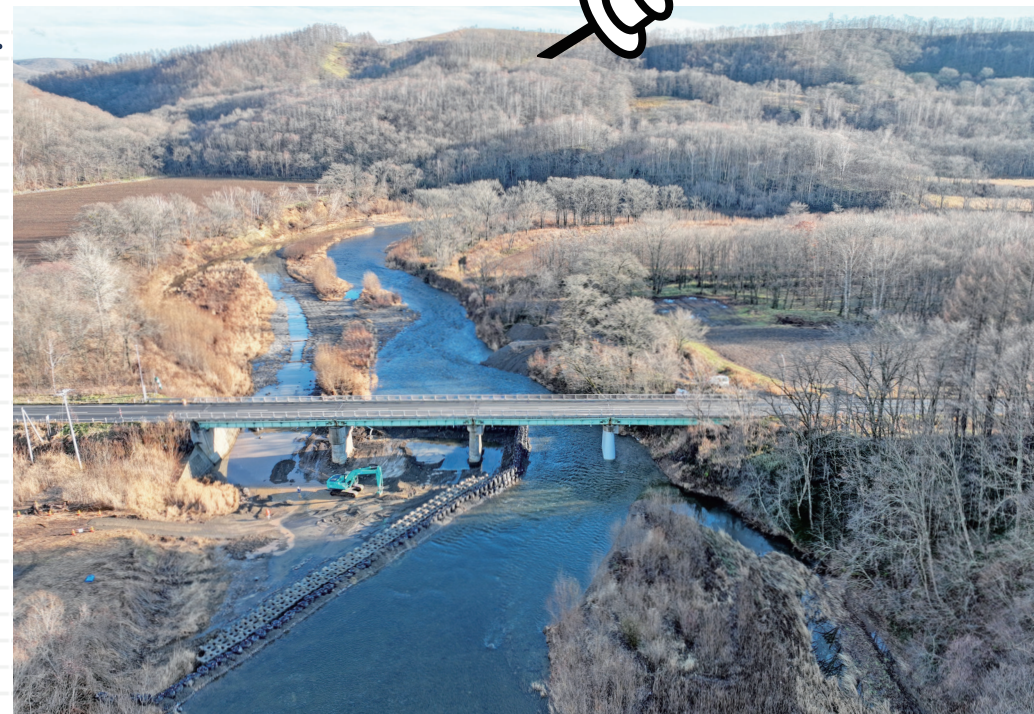
令和7年3月21日

☑ 発注者：北海道開発局帯広開発建設部

☑ 請負者：西江建設株式会社

☑ 請負金額：264,374,000 円

☑ 進捗率：62.5% (12月末時点)



📷 第3利別橋工区

工事概要

本工事は一般国道242号足寄町第3利別橋における橋脚補強、一般国道273号上士幌町不二川橋における橋梁補修、一般国道241号本別町西仙美里における法面補修と、施工箇所が3箇所に点在しています。

各工区で多岐にわたる施工を行っていますが、すべての工区に言えることは、現道として一般車両が通行しているすぐそばで施工を行っていることです。片側交互通行規制で作業している工区もあり、一般の方々にご迷惑がかからないよう、安全施設の配置場所や施工方法を工夫し実施しています。

【第3利別橋工区】

国道242号は網走市から帯広市に至る延長283.5kmの一般国道で、十勝とオホーツクを結ぶ重要な路線です。

第3利別橋は、利別川に架かる橋梁で足寄町から陸別町に向かい約17kmの上利別と大巻地の地域境に位置します。昭和32年に竣工し、供用開始から約67年経過しており、橋梁点検の結果、大規模地震が発生した際にも施設の機能を確保するための耐震補強工事が必要となり、この工事が発注されました。

【不二川橋工区】

国道273号は帯広市から紋別市に至る延長236kmの一般国道で、途中に糠平湖、三国峠、大雪湖、層雲峠を通る、十勝と上川・オホーツクを結ぶ重要な路線です。

不二川橋は糠平湖にそそぐ不二川の河口に架かる橋梁で、上士幌町の市街地から上川町に向かい約21km、ぬかびら源泉郷の手前約1km、不二川トンネルと糠平トンネルの間に位置します。昭和52年に竣工し、供用開始から約47年経過しており、橋梁点検の結果、高力ボルトを取り替える橋梁補修工事が必要となり、この工事が発注されました。

【西仙美里工区】

国道241号は弟子屈町から帯広市に至る延長172.1kmの一般国道で、途中に阿寒横断道路、阿寒湖、足寄峠を通る、十勝と釧路を結ぶ重要な路線です。

西仙美里の法面は、足寄町の市街地から上士幌町に向かい約4kmの場所に位置します。道路点検の結果、法面の崩壊が確認され、国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）の土砂災害防止対策として、この工事が発注されました。

01

この現場において 大変に感じることは ありますか？

点在している3工区が、それぞれとても離れた場所にあり、移動するだけでも多くの時間を費やしてしまいます。

そのため、各工区に現場カメラを設置し、離れた工区の作業状況を確認しながらリモートで打ち合わせを行うなど、極力、移動に費やす時間を短縮する取り組みを行っています。

また、各工区に頼れる先輩方が配置されていることも心の支えとなっています。

03

水上さんが感じる 建設業の魅力ややりがい について教えてください

“全く同じ現場はひとつもない”。これは他の職種ではなかなか味わえないことだと思います。現場ごとに様々な課題にぶつかりますが、その現場に携わる関係者全員で力を合わせて解決しながら、ひとつの物を作り上げていくことが一番の魅力かなと感じています。

また、私には小学5年生の息子がいるのですが、携わった現場を車で通る時に「ここはお父さんも工事に関わったんだぞ!」とつい言いやってしまいます…。そう言える場所があることも魅力のひとつですね。

02

もっとも達成感を 感じるのは どんな時ですか？

各作業の区切りがついたときには、「やっとここまで来たな〜」と達成感を感じます。

区切りといえば、この現場では同時に3つの工区を施工していましたが、12月13日(金)でひとつの工区(西仙美里工区)が完了となりました。

完成した現場を歩きながら、最初に現場を見てどうやって施工しようかという悩んだことや施工中のことを振り返り、事故なくここまで完了できた喜びを感じました。

04

水上さんの 仕事のこだわりについて 教えてください

現場で働くすべての人が安全・快適に働けるよう、常に安全を第一に考え現場を進めることを意識しています。

「自分の現場でケガをする人が一人も出ないよう最善を尽くす」。建設業をはじめ、どの業界でも当たり前と言われることかもしれませんが、その当たり前を徹底することが大事だと思います。怪我や事故につながる要素はないか、いつもアンテナをはって現場の仕事に取り組んでいます。

PHOTO DATE



← 不二川橋工区
作業中の様子



← 西仙美里工区
作業中の様子

現場代理人のDATE

氏名

水上 陽出明
MIZUKAMI HIDEAKI

入社年月日

平成19年

所属

工 事 部 工 事 課 主 任

出身校

帯 広 工 業 高 等 学 校

趣味

キャンプ

家族や親戚、同僚と行くことが多いです。まだ管内のキャンプ場しか行ったことがないので、来年は管外のキャンプ場に行こうと思っています！



就活情報

北海道科学大学キャリア支援イベント

11月19日（火）、北海道科学大学において開催されたキャリア支援イベント「暮らす・働く、北海道の魅力大発見！」に参加しました。

このイベントは地元志向が高い学生に、地方の魅力や仕事について知ってもらうことを目的としたイベントです。

萩原建設工業(株)、宮坂建設工業(株)の職員とともに十勝エリアの企業として出展し、十勝の銘菓を試食してもらいながら、地域や建設業の魅力をお伝えしました。

およそ40名の学生がブースを訪れ、十勝のPRや会社説明に熱心に耳を傾けてくれました。

このイベントを通し、十勝や建設業の魅力を知っていただけたら嬉しいです。



北海道科学大学でのイベント情報

都市環境学科 業界研究会

令和7年1月17日（金）
14:40～17:50

合同業界研究会

令和7年2月9日（日）
10:00～11:50

令和6年度、最後の出展予定のイベントとなっております。

たくさんの学生さんにお会いできることを楽しみにしております。
ぜひお越しください！



帯広農業高等学校連携授業

12月18日（水）、帯広農業高等学校において連携事業「情報化施工技術等に対応できる農業土木技術者育成プログラムの開発」を実施し、農業土木工学科2年生37名が参加してくれました。この取り組みは、これまで座学が中心だった農業土木教育を実践的・体験的な学習の機会を増やし、最先端技術に対応できる実習を行うことを目的とした事業です。

当日は、5時間目に3次元計測技術の説明・シミュレーターを用いたドローンの操作体験・デジタルレベルの操作体験、6時間目に当社で行っているCIM事例の紹介・西江建設の会社紹介・施工管理職の仕事紹介を行い、建設業の働き方を知ってもらいました。

参加した生徒たちは、「ドローンはとても繊細な操作技術が必要なんだなと思った。離陸や着陸が丁寧にできるように操作してみました」「他にもどんな器械があるのか興味がわいた」と話してくれました。休み時間には、展示している測量用・撮影用ドローンや地上型レーザースキャナーに関心を持ち、職員から器械の活用方法や性能の説明を受け、とても驚いた様子でした。

同校の卒業生でもある工事課 丸山翔太さんが施工管理職の仕事紹介を行った際には、「入社して一番楽しかったこと、一番難しかったことはなんですか？」と質問を受け、「毎年違う工事・違う工種がありそれぞれの難しさがある。でも完成したときの達成感が仕事の楽しさに繋がっている」とお伝えしました。

今回の連携事業は当社にとっても初めての取り組みであり、とても貴重な機会となりました。今回の体験が皆さんの進路選択の一助となれば嬉しいです。



▲ドローン操作体験の様子。ゲーム感覚の操作体験で盛り上がる生徒たちと、説明にあたった木嶋さん（写真①②右）

▲デジタルレベル操作体験の様子。授業の成果を存分に発揮する生徒たちと、説明にあたった丸山さん（写真③左）と横田主任（写真④右）

▲展示しているドローンに興味津々の先生と生徒たち



▲施工管理職の仕事を紹介する丸山さん（左奥）と、熱心に耳を傾ける生徒たち

受賞 Report

無災害記録第二種 達成

10月24日（木）、帯広労働基準監督署において無災害記録証伝達式が執り行われました。

当社は「無災害記録 第二種」を達成した記録証を授与されました。無災害記録は第1種～第5種まであり、第1種は85万時間、第2種は130万時間、第3種は190万時間の無災害記録が必要です。

当社は平成30年10月から記録が続いており、令和6年2月で130万時間を達成しました。第3種の190万時間は、あと3年程度で達成できる見込みです。

130万時間の無災害を達成できたのは、職員が日頃から高い安全意識を持ち、努力を続けてきた結果であると考えております。これからも無事故・無災害を継続できるよう、一人一人が安全第一を徹底し、安心・安全な施工を続けてまいります。

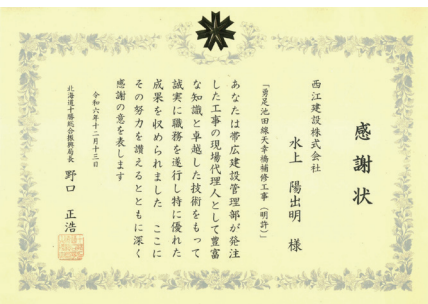


優良工事現場代理人等表彰

12月13日（金）、十勝総合振興局において令和6年度 帯広建設管理部優秀現場代理人等表彰式が執り行われました。

表彰式では、令和5年度に完成した「勇足池田線天幸橋補修工事（明許）」において、現場代理人を務めた工事課 水上陽出明主任の優れた功績に対し、十勝総合振興局 野口正浩局長より感謝状をいただきました。

今後とも引き続き高品質な施工を続け、社員一丸となって取り組んで参ります。



特集「BCP 訓練」

9月30日（月）、大雨・洪水を想定したBCP訓練を行いました。「第1部 講話」「第2部 訓練」「第3部 総括」「第4部 土のう作成訓練」で構成した約3時間に及ぶ訓練に、当社全職員ならびに帯広市役所（危機対策課）職員の方3名にもご参加いただきました。

1部

第1部は取締役宮島滋近副社長による「流域治水とオフィシャルサポーターの役割」についての講話を行いました。当社は令和5年に、国土交通省より全国で6番目の流域治水オフィシャルサポーターとして認定を受けております。その取り組みの一環として社員教育を実施しました。



2部

第2部では実際に災害が起きた際、どのような手順で対応するか全社員で訓練にあたりました。災害対策本部の立ち上げから、各部署・担当者の役割を改めて確認・周知するとともに、協力業者等との連携手順を確認し、災害時の対応を綿密にシミュレーションしました。また、本社を一時避難場所として提供するにあたり、避難場所開設のための訓練（段ボールベッド・簡易テント等の組立て）も行いました。避難誘導訓練では、帯広市職員の方が避難者役として、実際に避難場所までの移動を体験していただきました。



市職員の方からは「毎年、このような訓練を継続していることが素晴らしい。参考になる部分が多くあった。今後はブラインド訓練等も取り入れるとレベルアップできるのでは」とコメントをいただきました。



4部

第4部では帯広工事事務所において土のう作成訓練を実施しました。工事部 妹尾慎一郎次長の指導のもと、全職員ならびに市職員の方とともに、現場等で実際に使われる土のうを作成しました。

訓練で作成した土のうは、会社で保管し、実際の災害時にも使用します。



※BCPとは、「災害時事業継続計画（Business Continuity Plan）」の略称。地震・洪水などの自然災害や、事故、その他危機的な事態が発生した際に、重要業務を中断させず、また例え中断してもできるだけ短い期間で再開できるよう平常時から事業継続について準備しておく計画。

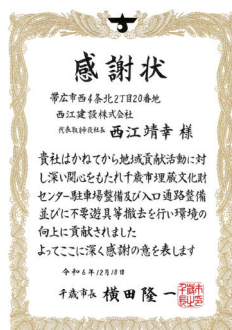
PLUS NEWS

感謝状

12月18日（水）、現在千歳市で施工中の「石狩川改修附帯工事の内 中央長都樋門改築工事」（発注者：北海道開発局 札幌開発建設部）（現場代理人：工事課 小野田一志工事長）では、地域貢献として千歳市埋蔵文化財センターの施設整備を行いました。

同センターは閉校した長都小学校を活用した施設であり、当時使われていた鉄棒などの遊具が残っていました。来場した子供が使用すると危険な状態の遊具を撤去したほか、水たまりがでやすくなっていた駐車場に砂利を敷設し、整備しました。

この活動が施設の環境向上に貢献したとして、千歳市 横田隆一市長より感謝状をいただきました。



イルミネーション

西18条北1丁目にある当社の帯広工事事務所では、今年で19年目となるイルミネーションを点灯しています。

高さ8mのツリーは金色のラインと頂点の星で華やかに。並木は青と白で統一し、事務所は雪の結晶のモチーフなどで幻想的な雰囲気 zu 飾り付けました。入口ではスノーマンたちがお出迎えます。さらに並木の間にはウサギやリスなど、かわい動物たちのモチーフが並んでいます。

イルミネーションは、3月中旬頃まで、毎日16時～22時の間に点灯しています。北バイパス・国道38号線を通る際はお見逃しなく！



早いもので、年末のご挨拶をさせていただく時期となりました。
本年も皆様よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年も、社会基盤整備事業を通じ
地域に必要とされ、そして地域に貢献する会社として
社員一丸となって努力し続けてまいります。
今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとって実りある一年になりますよう
社員一同、お祈り申し上げます。



令和6年12月28日（土）～令和7年1月5日（日）は
年末年始の休日とさせていただきます。

12月28日（土）～1月5日（日）	年末年始休業
1月6日（月）	仕事始め
1月11日（土）	新年会
1月13日（月）	成人の日
2月11日（火）	建国記念日
2月24日（月）	天皇誕生日の振替休日
3月20日（木）	春分の日
3月31日（月）	次回「春号」発行予定

Instagram



YouTube



WebSite



西江建設株式会社 〒080-0034 帯広市西4条北2丁目20番地
TEL:0155-25-9105 MAIL:info@nishie-co.jp

